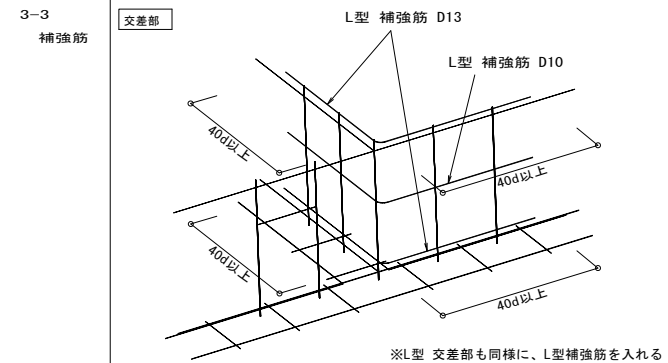




3-2 あばら筋	・あばら筋の加工は下図による。同時打込みのスラブ付の場合に限る。 ※ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL2とする。
-------------	---

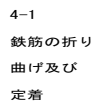


3-4 梁の貫通補強

梁の貫通補強  $\phi > D/10$  又は、 $\phi \geq 150$  の時、下の鉄筋補強を施す事。

梁巾	穴径	100 $\phi$	150 $\phi$	200 $\phi$	250 $\phi$	300 $\phi$	350 $\phi$	400 $\phi$
	梁底							

(注) ---は、一般部分のあばら筋を示す。



4-2  
繼 手

4-3  
片 持 ち  
ス ラ っ

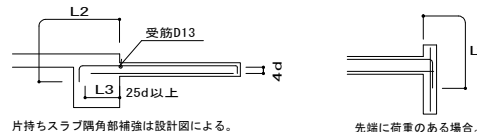
4-4 補強筋

Figure 1 illustrates the reinforcement layout of a rectangular slab. The plan view shows a grid with dimensions  $l_y$  and  $l_x$ . Reinforcement bars are labeled A, B, C, D. The elevation view shows the slab thickness  $t$  and the reinforcement layout with labels L2, L3, and 15d以上. The text "外周部は150以上" and "折り曲げ" are also present.

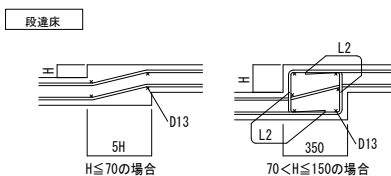
下向き荷重を受けるスラブの継手位置は下表による。  
上向き荷重を受けるべた基礎(耐圧スラブ)の継手位置は下表の上端筋と下端筋を逆に読む。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B D
	長辺方向	A B
下端筋	短辺・長辺方向	A C D

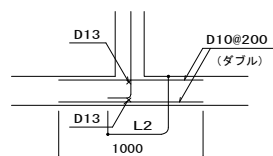
4-3  
片 持 ち  
ス ラ っ



4-4 補強筋



RC壁・CB壁が床にのる場合



5-1	階 段
-----	-----

5-2  
土間コンクリート

5-3  
深基礎

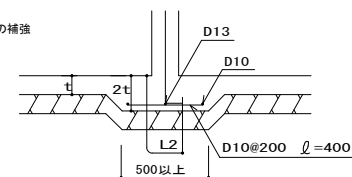
スラブ階段

土間スラブの打継ぎ補強筋  
(土間コンクリート、構造スラブ 共)

筋の配筋	中間部	端部
シングル		
ダブル		

a ≤ 300mm      b: スラフ上端筋と同径、同ピッチとする。

RC壁・CB壁の補強







木工事・軸組工法工事 補足特記仕様書（その3）

(11) 面材耐力壁

1. 構造用合板・大壁造の場合

2. 構造用合板・真壁造の場合

受材以外で合板を  
縦く場合  
間つなぎ及び間柱  
45×65以上

受材以外で合板を  
縦く場合  
間つなぎ及び間柱  
45×100以上

釘 N50 #150

釘 N75 #300

釘 N50 #150

釘 N75 #300以下  
で平打ちする。  
合板両面打ちの場合N75-#150以下とする。

3 耐力壁貫通孔

(1) 小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）

剛性・耐力に影響しない  
面材耐力壁の小開口の設け方

穴径がL/2(50cm程度)  
までなら四周を受材等で  
補強して面材を釘打ちすれば可

水平方向の受材等は  
両端を軸組の柱に対して  
斜めビス止め等で緊結する

穴径が12t以下かつ  
L/6以下ならば補強不要

面材厚：t

部：小開口を設けることが  
できる範囲

面材短辺寸法：L

(12) 水平構面

■（床水平構面） 単位長さあたりの許容せん断力 7.84kN/m

sr07

150以下

150以下

1000mm以下

1000mm以下

構造用合板  
厚さ28mm

釘 N75#150

受材45×45以上

床仕様	
面材	構造用合板 28mm
面材釘打ち仕様	面材の4周と短辺の間の1列を鉄丸釘N75を用いて150mm以下の間隔で 梁組及び合板継目部分の受材に対して打ち付け
受け材の仕様	幅45mm以上、せい45mm以上の受け材を面材の 継目に沿って梁の間に落とし込み
受け材相互の間隔	梁及び受け材の間隔は1000mm以下
受け材と梁の 接合仕様	梁の側面に受け材と同断面の掘り込み加工をして 受け材を落とし込み受け材上端から梁の掘り込みにN75釘1本を斜め打ち

■ 勾配屋根水平構面 単位長さあたりの許容せん断力 1.37kN/m

sr15

構造用合板  
厚さ12mm

150以下

200以下

垂木に対して  
釘 N50#150

母屋に対して  
釘斜め打ち 2-N75

垂木  
巾45mm以上、せい45mm～90mm

屋根仕様	
面材	構造用合板 12mm
面材釘打ち仕様	面材を鉄丸釘N50を用いて150mm以下の間隔で 垂木に対して打ち付け
垂木の仕様	幅45mm以上、せい45mm～90mmの垂木を、相互の間隔 500mm以下で、軒桁・母屋・棟木の上の傾斜面に並列して設置
垂木と軒桁・母屋・ 棟木の接合仕様	軒桁・母屋・棟木の上に設けられた傾斜面（垂木通）に垂木を載せ、 垂木の側面から軒桁・母屋・棟木の上に対してN75釘2本を斜め打ち

(13) 柱頭・柱脚

1. 土台用アンカーボルト

- ・M12アンカーボルトは82,000以内に配置、基礎への埋込長さは250mm以上とする。
- ・耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ200mm以内の位置に配置すること。  
（但し、8-材の用7-材を8-材を取り付けた場合は上記の配置を省略可とする）

200mm以内

座金：  
厚さ4.5mm、40mm角（Zマーク）  
又は同等以上

M12アンカーボルト  
埋込長さ250mm以上

2. (い) かすがい

3. (ろ) L字型かど金物

L字型かど金物  
ZN65 横架材に5本、柱に5本

4. (は) 山型プレート

山型プレートVP  
ZN60 横架材に4本、柱に4本

5. (に) 羽子板ボルト

羽子板ボルト  
M12ボルト

※（床）羽子板ボルト＋スクリーナー釘の場合は  
長さ50mm径4.5mmのスクリーナー釘を  
1本追加すること

6. (へ) 10kNホールダウン・引寄せ金物

S-HD10  
M12ボルト2本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ2本  
（首下長さ110mm以上）

M16アンカーボルト  
埋込長さ300mm以上

柱脚

M16座付ボルト  
もしくはM16ボルト  
＋角座金（80×80×9）

S-HD10  
M12ボルト2本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ2本  
（首下長さ110mm以上）

柱頭

7. (と) 15kNホールダウン・引寄せ金物

S-HD15  
M12ボルト3本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ3本  
（首下長さ110mm以上）

M16アンカーボルト  
埋込長さ300mm以上

柱脚

M16座付ボルト  
もしくはM16ボルト  
＋角座金（80×80×9）

S-HD15  
M12ボルト3本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ3本  
（首下長さ110mm以上）

柱頭

8. (ち) 20kNホールダウン・引寄せ金物

S-HD20  
M12ボルト4本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ4本  
（首下長さ110mm以上）

M16アンカーボルト  
埋込長さ300mm以上

柱脚

M16座付ボルト  
もしくはM16ボルト  
＋角座金（80×80×9）

S-HD20  
M12ボルト4本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ4本  
（首下長さ110mm以上）

柱頭

9. (り) 25kNホールダウン・引寄せ金物

S-HD25  
M12ボルト5本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ5本  
（首下長さ110mm以上）

M16アンカーボルト  
埋込長さ300mm以上

柱脚

M16座付ボルト  
もしくはM16ボルト  
＋角座金（80×80×9）

S-HD25  
M12ボルト5本  
もしくは12φ3/4"ｽｸﾘｰﾅｰ5本  
（首下長さ110mm以上）

柱頭

10. 30kNホールダウン・引寄せ金物

30kNホールダウン  
木造建築用接合金物性能認定により  
30kN以上の耐力を保有すること  
※指定の接合金具と共に使用すること

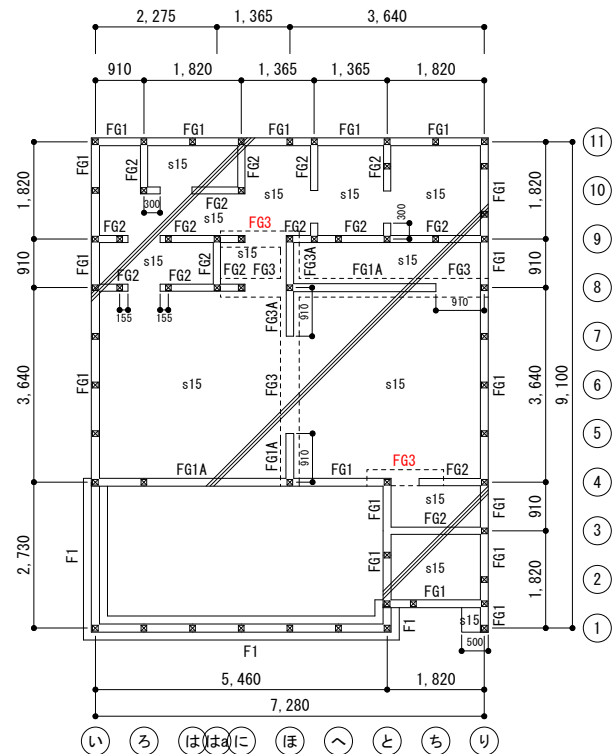
M16アンカーボルト  
埋込長さ510mm以上

柱脚

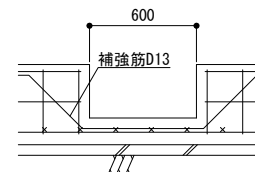
M16ボルト  
＋角座金（100×100×12）

30kN引寄せ金物  
木造建築用接合金物性能認定により  
30kN以上の耐力を保有すること  
認定された金物から選定すること  
※指定の接合金具と共に使用すること

柱頭



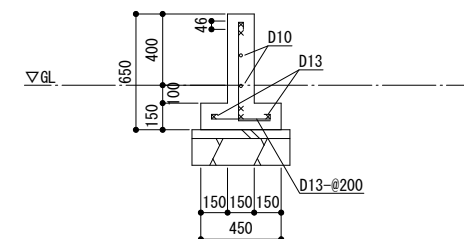
基礎伏図 1/100



人通口詳細図 1/30

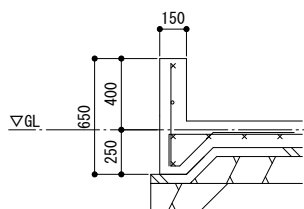
床版リスト

符 号	版 厚	層	短辺方向	長辺方向
s15	150	シングル	D13-@200	D13-@200



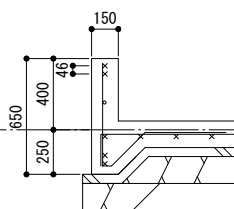
主筋: 1-D13上下  
STP: L-D10-@200

F1詳細図 1/30



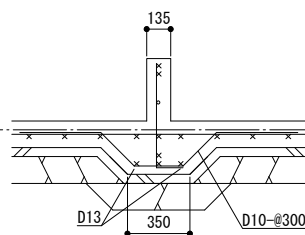
主筋: 1-D13上下  
STP: L-D10-@200

FG1詳細図 1/30



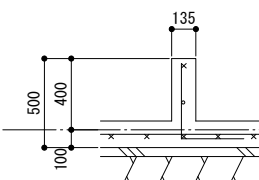
主筋: 1/1-D13上下  
STP: L-D10-@200

FG1A詳細図 1/30



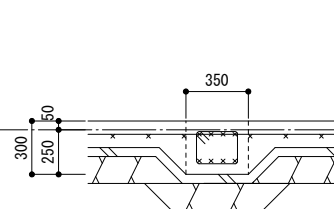
主筋: 1/1-D13上下  
STP: L-D10-@200

FG1A内部 1/30



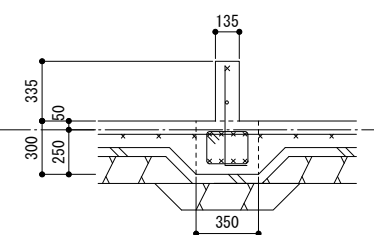
主筋: 1-D13上下  
STP: L-D10-@200

FG2詳細図 1/30



主筋: 4-D13上下  
STP: □-D10-@200

FG3詳細図 1/30

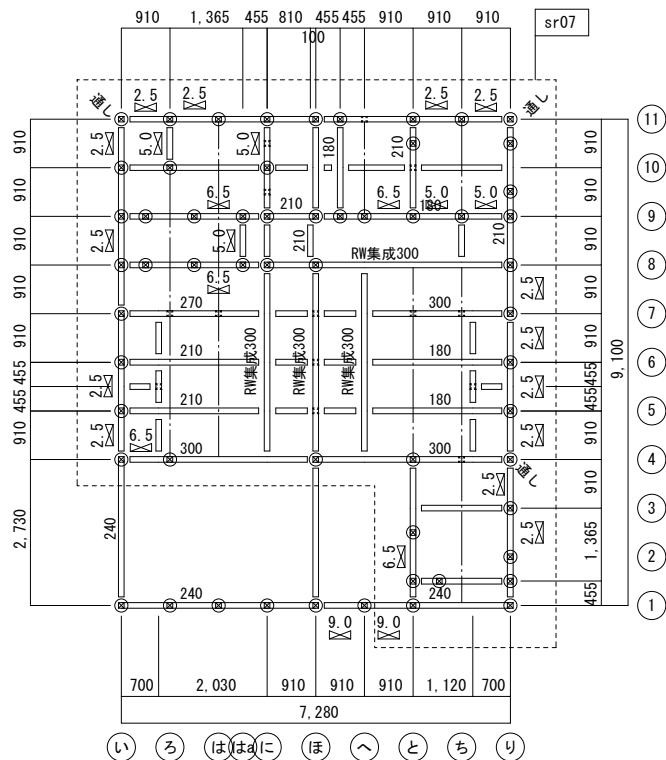


主筋: 4-D13上下  
STP: □-D10-@200

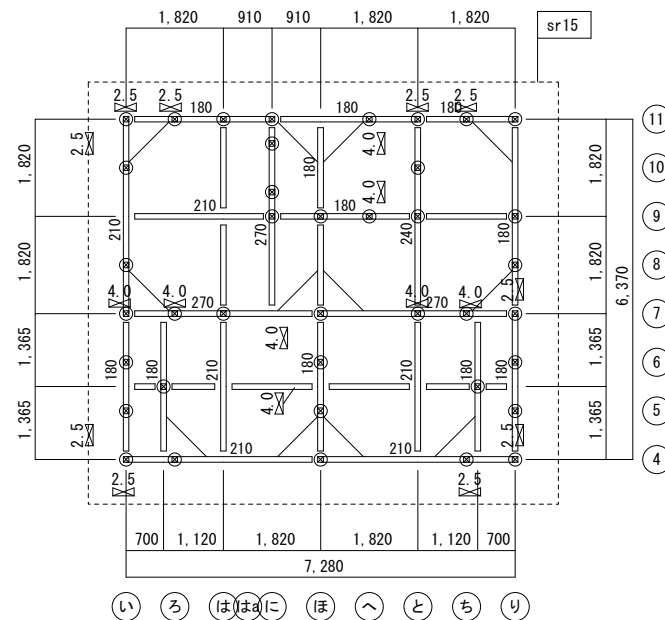
FG3A詳細図 1/30

※基礎の立ち上がり筋の端部はフックを設けるか組み立て溶接とすること。





2SL伏図 1/100



RSL伏図 1/100

壁耐力壁の仕様

記号	面材1(片面)		面材2(片面)		筋交い	
	仕様	倍率	仕様	倍率	仕様	倍率
4.0	-	-	-	-	45*90ダブル	4.0
2.5	ダイライトMS t9	2.5	-	-	-	-
5.0	合板 t9	2.5	合板 t9	2.5	-	-
6.5	ダイライトMS t9	2.5	-	-	45*90ダブル	4.0
9.0	ダイライトMS t9	2.5	ダイライトMS t9	2.5	45*90ダブル	4.0

合板 t9仕様(告示S56年1100号第1、三号、別表第2(四))  
釘: N50釘を用いて150mm以下の間隔で受材・柱・間柱・(上側の)横架材に釘打ち  
受材: 30mm x 40mm以上を床下地材の上から土台・横架材にN75釘を300mm以下で釘打ち  
真壁仕様とする。

ダイライト仕様  
合板 t9仕様  
釘: N50釘を用いて四周は100mm以下、中通り200mm以下、その他メーカー仕様(ダイライトMS)による  
(大臣認定: 平成9年建設省富住指発第9号)

筋交いと間柱の交差部は筋交いから間柱にN75釘2本止めとすること

筋交い金物は柱及び横架材に留め付ける金物を採用とし、  
柱のみに取り付ける金物は使用しないこと。

特記なき限り

図面は見上げとする。

◎ 柱位置を示す。

柱105角とする。

梁105\*150とする。

梁巾105とする。

集成はRW集成E120-F330とする。

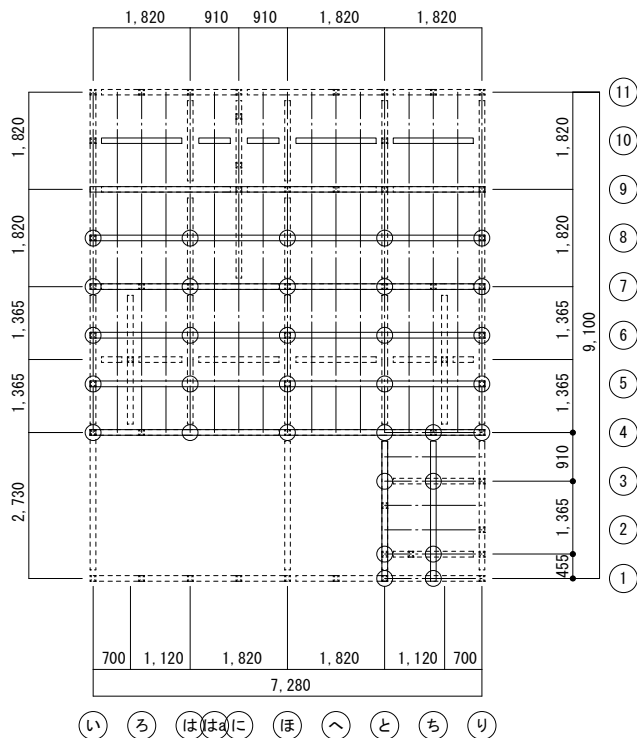
4.0 筋交い位置を示す。

☒ 仕様は壁面材仕様参照

／ 火打ち90角を示す。

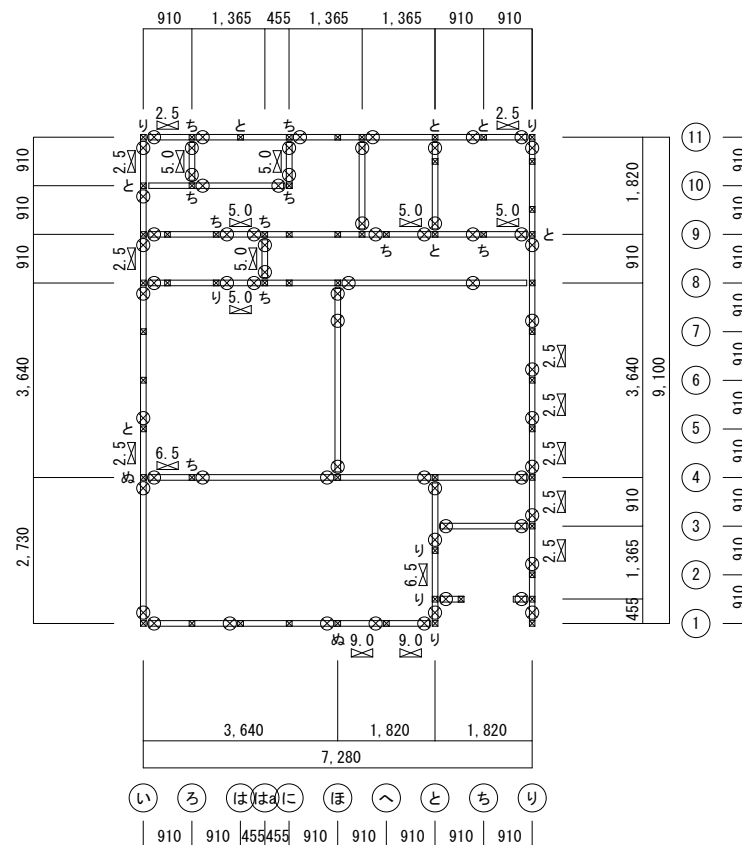
—— つなぎ45角以上を示す。





母屋垂木伏図 1/100

特記なき限り  
母屋90\*90@910以下とする。  
○東90角位置を示す。  
垂木SPF38\*89@455以下とする。  
小屋裏筋交いは 21\*90を3.64m間隔に配置し東にN75釘2本止め程度とする。  
小屋裏には(ろ)以上の金物を配置のこと。

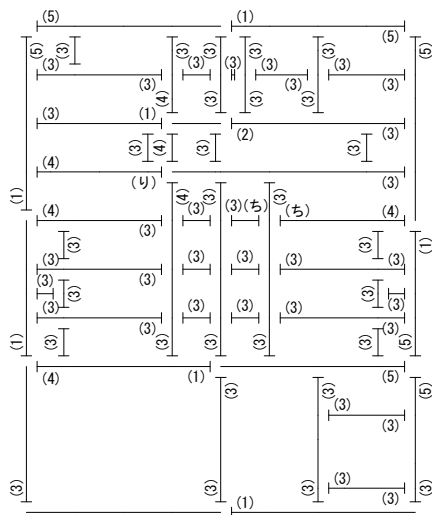


土台伏図 1/100

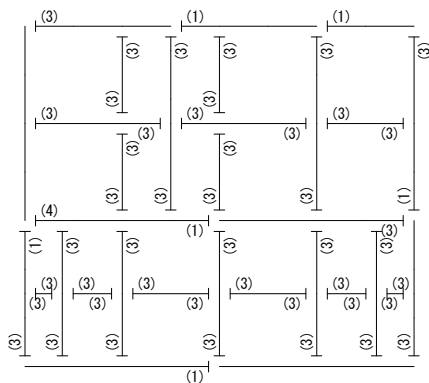
特記なき限り  
土台桧105\*105とする。  
⊗アンカーボルトM12-埋め込み≧L250を示す。  
図中配置は土台のアンカーボルトとしホールダウンは別途柱脚金物図参考とする。

M12アンカーボルト (取付位置)	2700mm以内の間隔 出隅・入隅位置 土台継手の上木を押さえ込む位置 耐力壁の両端の柱の近接位置
----------------------	--





- ⑪
- ⑩
- ⑨
- ⑧
- ⑦
- ⑥
- ⑤
- ④
- ③
- ②
- ①



- ⑪
- ⑩
- ⑨
- ⑧
- ⑦
- ⑥
- ⑤
- ④
- ③
- ②
- ①

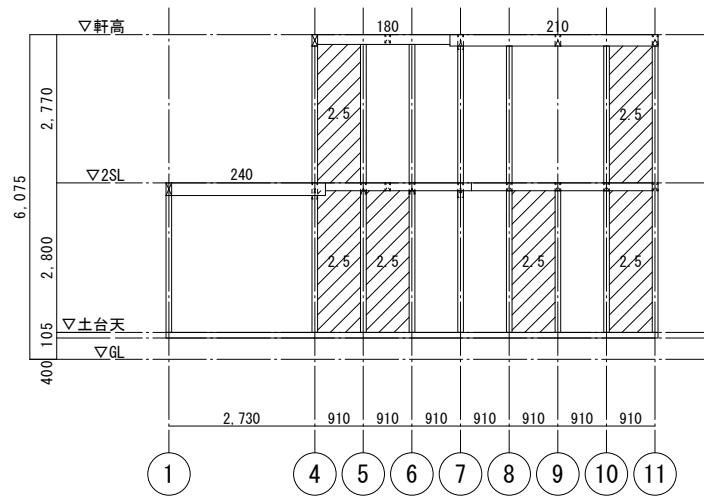
(1)	腰掛け継（継）継ぎ+厚さ3.2mmの短ざく金物で双方の横架材に対してそれぞれ径12mmのボルト締めしたもの。又は、これと同等以上の接合方法としたもの。	10.1
(2)	腰掛け継（継）継ぎ+厚さ3.2mmの短ざく金物2枚を用いて双方の横架材に対してそれぞれ径12mmのボルト締めしたもの。又は、これと同等以上の接合方法としたもの。	15.9
(3)	大入れ継掛け+厚さ3.2mmの鋼板に径12mmのボルトを溶接した金物（羽子板ボルト）を用いて、一方の部材に対して径12mmボルト締め、他方の部材に対して厚さ4.5mm、40mm角の座金を介してナット締めしたもの。又は、これと同等以上の接合方法としたもの。	10.1
(4)	大入れ継掛け+厚さ3.2mmの鋼板に径12mmのボルトを溶接した金物（羽子板ボルト）2個を用いて、一方の部材に対して径12mmのボルト締め、他方の部材に対して2個の金物それぞれについて厚さ4.5mm、40mm角の座金を介してナット締めしたもの。又は、これと同等以上の接合方法としたもの。	15.9
(5)	横架材端部を通し柱に大入れほぞ差し、又は、傾ぎ大入れとし、引張力は羽子板ボルト又は短ざく金物、又は、かね折り金物（厚さ3.2mmの鋼板をL字型に折り曲げて出隅部を通し柱に取り付く直交方向の横架材端部どうしを径12mmのボルト締め）を用いて径12mmのボルト締めとしたもの。又は、これと同等以上の接合方法としたもの。	7.5
(6)	横架材端部を通し柱に大入れほぞ差し、又は、傾ぎ大入れとし、引張力は羽子板ボルト又は短ざく金物を用いて径12mmのボルト締めに加えて長さ50mm径4.5mmスクリュー釘1本をそれぞれの横架材に打ち込んだもの。又は、これと同等以上の接合方法としたもの。	8.5

い ろ ははに ほ へ と ち り

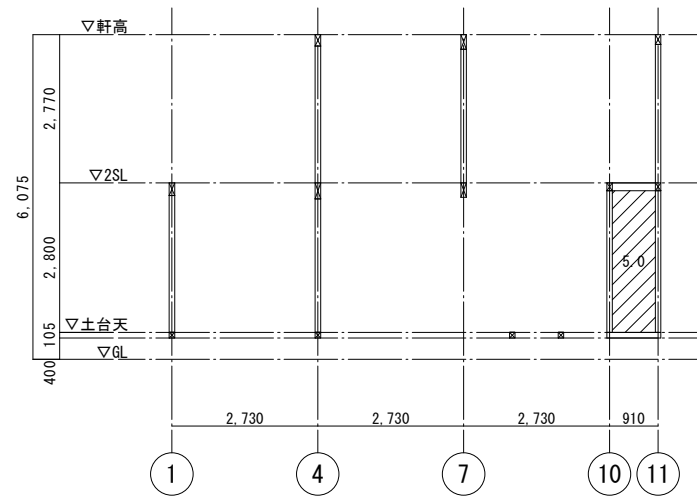
い ろ ははに ほ へ と ち り

2SL継手伏図 1/100

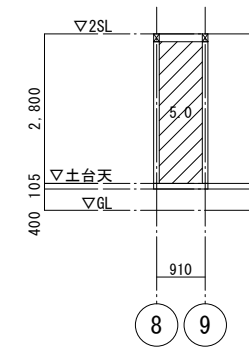
RSL継手伏図 1/100



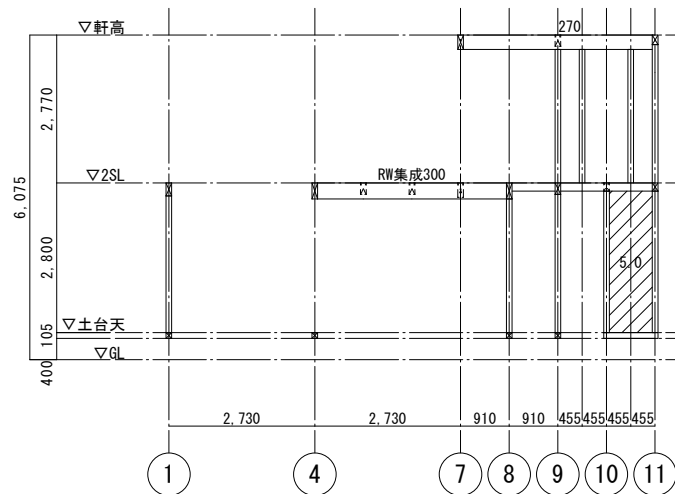
い通り軸組図 1/100



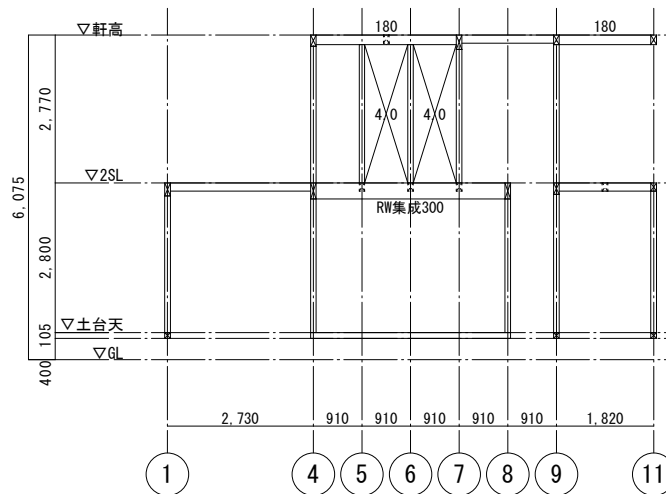
ろ通り軸組図 1/100



はa通り軸組図 1/100



に通り軸組図 1/100

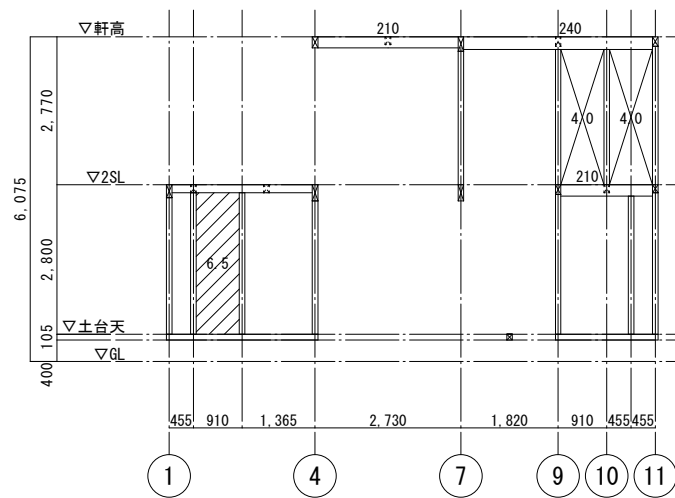


ほ通り軸組図 1/100

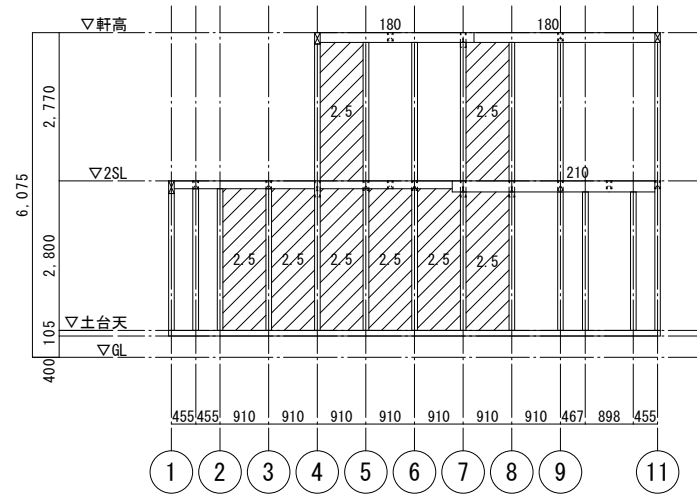
1階、105角  $lk=2.80(m)$   
 $\lambda=92 \leq 150$   
 2階、105角  $lk=2.77(m)$   
 $\lambda=91 \leq 150$

特記なき限り  
 柱105\*105  
 梁105\*150  
 梁巾105  
 ハッチング及び  
 ×は耐力壁を示す。  
 土台は伏図を正とする。

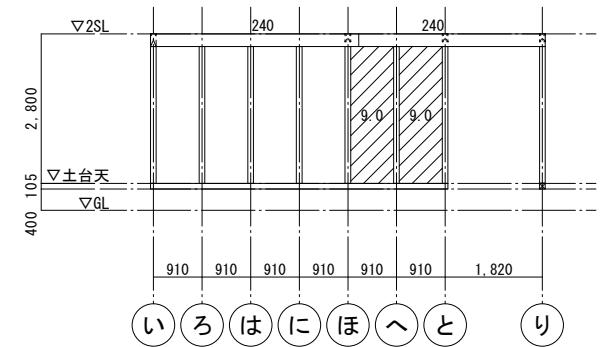




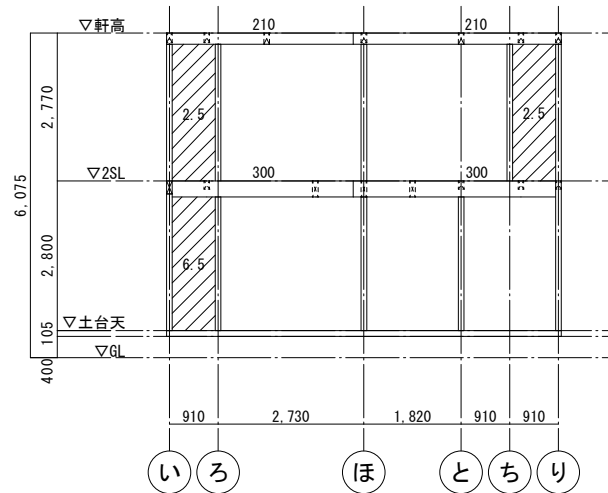
と通り軸組図 1/100



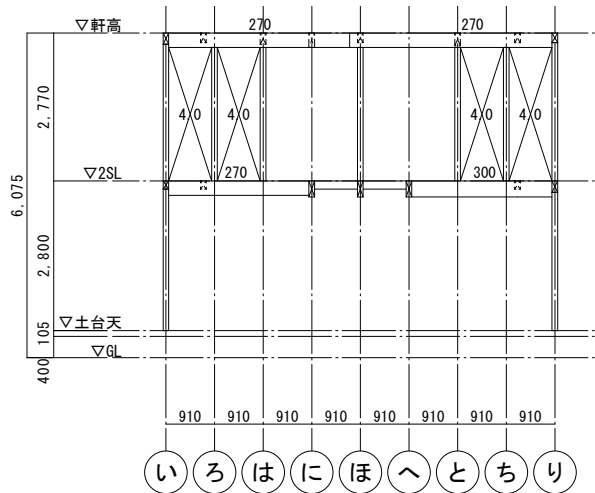
り通り軸組図 1/100



1通り軸組図 1/100



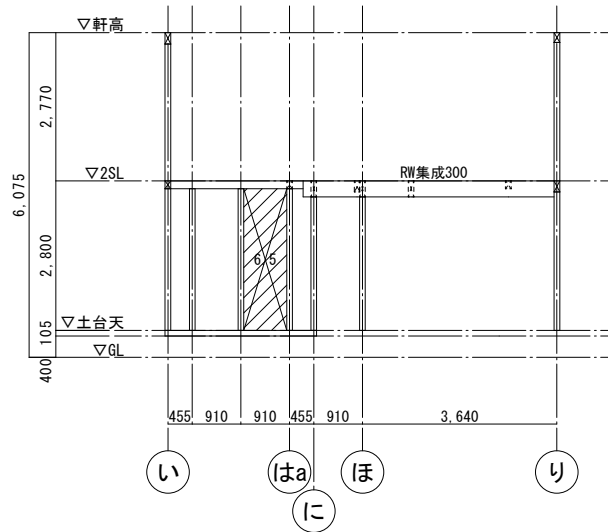
4通り軸組図 1/100



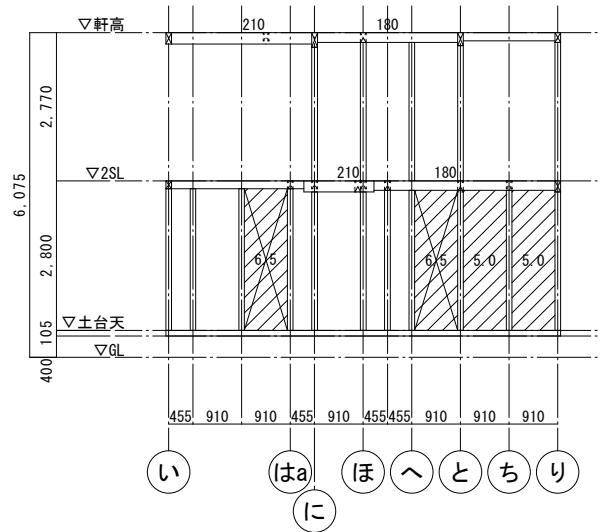
7通り軸組図 1/100

特記なき限り  
柱105\*105  
梁105\*150  
梁巾105  
ハッチング及び  
×は耐力壁を示す。  
土台は伏図を正とする。

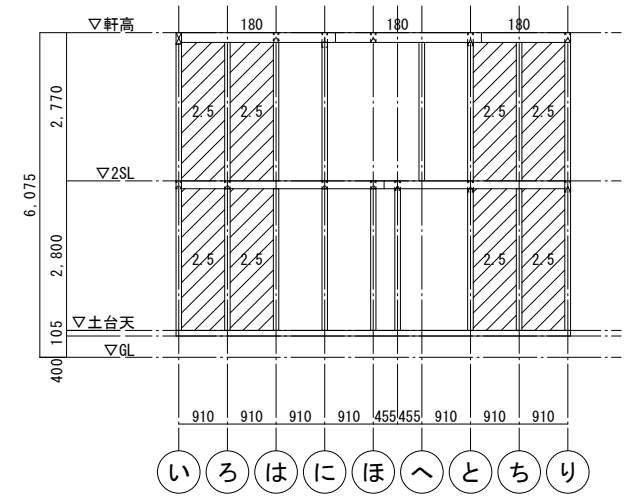




8通り軸組図 1/100



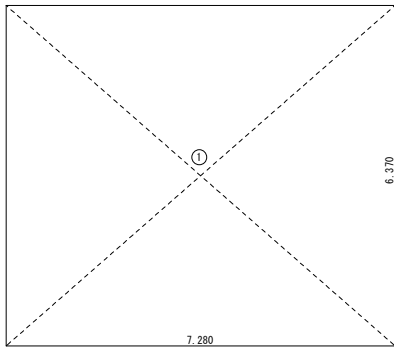
9通り軸組図 1/100



11通り軸組図 1/100

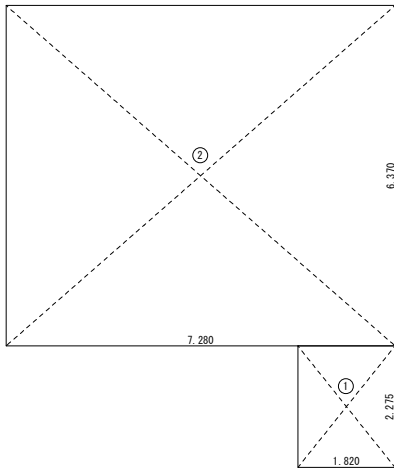
特記なき限り  
柱105\*105  
梁105\*150  
梁巾105  
ハッチング及び  
×は耐力壁を示す。  
土台は伏図を正とする。





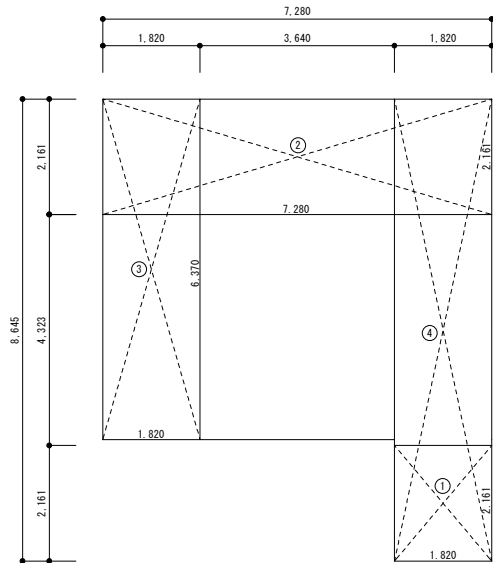
2階床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
1	$7.28 \times 6.37$	46.37
合計面積		46.37



1階床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
1	$1.82 \times 2.28$	4.14
2	$7.28 \times 6.37$	46.37
合計面積		50.51



1階1/4下側床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
1	$1.82 \times 2.16$	3.93
合計面積		3.93

1階1/4上側床面積

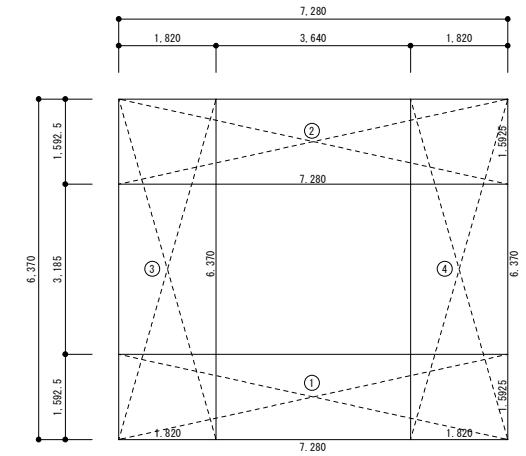
記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
2	$7.28 \times 2.16$	15.72
合計面積		15.72

1階1/4左側床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
3	$1.82 \times 6.37$	11.59
合計面積		11.59

1階1/4右側床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
4	$1.82 \times 8.65$	15.74
合計面積		15.74



2階1/4下側床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
1	$7.28 \times 1.59$	11.57
合計面積		11.57

2階1/4上側床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
2	$7.28 \times 1.59$	11.57
合計面積		11.57

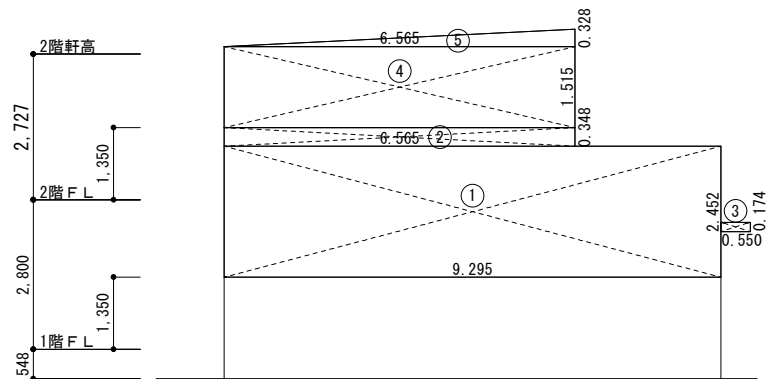
2階1/4左側床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
3	$1.82 \times 6.37$	11.59
合計面積		11.59

2階1/4右側床面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
4	$1.82 \times 6.37$	11.59
合計面積		11.59



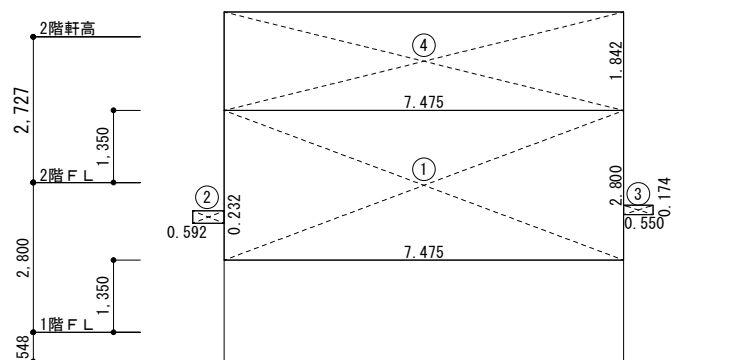


1階X方向受風面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
1	$9.295 \times 2.452$	22.80
2	$6.565 \times 0.348$	2.29
3	$0.550 \times 0.174$	0.10
合計面積		25.19

2階X方向受風面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
4	$6.565 \times 1.515$	9.95
5	$6.565 \times 0.328 \div 2$	1.08
合計面積		11.03



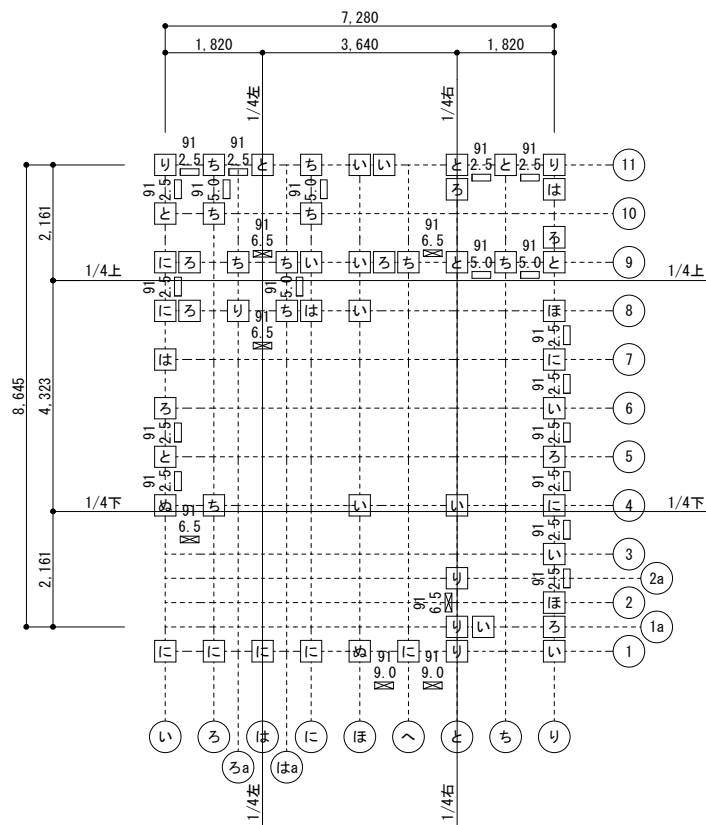
1階Y方向受風面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
1	$7.475 \times 2.800$	20.93
2	$0.592 \times 0.232$	0.14
3	$0.550 \times 0.174$	0.10
合計面積		21.17

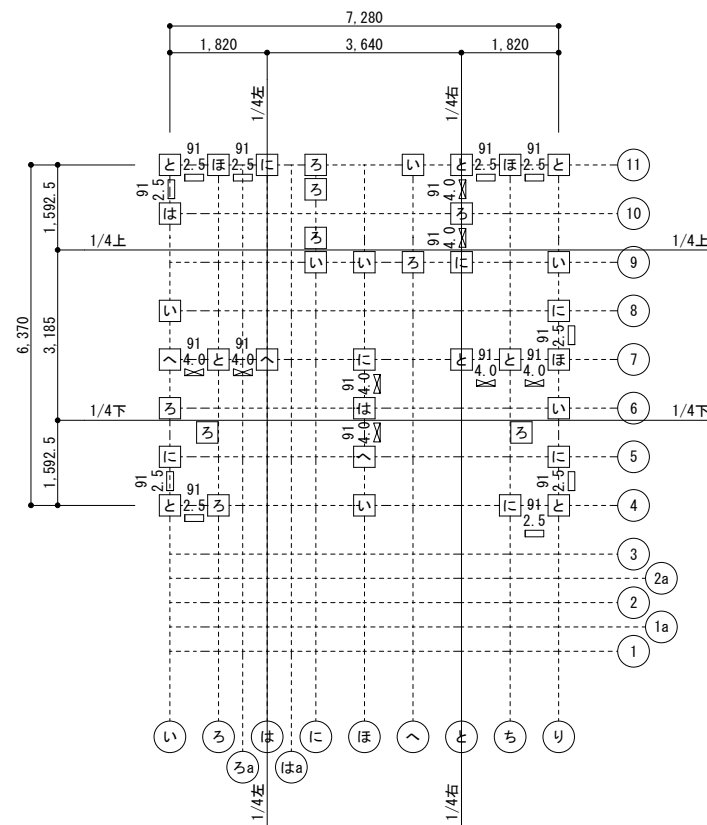
2階Y方向受風面積

記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
4	$7.475 \times 1.842$	13.77
合計面積		13.77





1階柱頭柱脚金物伏図 1/100



2階柱頭柱脚金物伏図 1/100

※と以上の金物を柱脚に使用の場合はホールダウン等の基礎定着型の金物を使用すること。







通り1	通り2	階	方向	位置	筋交い 倍率	パネル 倍率	補正值	A	B	L	N値	必要耐力金物 (KN)	金物
ち	9		1 X	左	0	5	0	0	0.5	1.6	-1.6	-8.4	ち
			Y	左	0	0	0	0	0.5	1.6			
				右	0	0							
り	9		1 X	左	0	5	0	5	0.5	1.6	0.9	4.8	と
			Y	左	0	0	0	0	0.5	1.6			
				右	0	0							
い	10		1 X	左	0	0	0	0	0.5	1.6	0.9	4.8	と
			Y	左	0	0	0	2.5	0.5	1.6			
				右	0	2.5	0						
			2 X	左	0	0	0	0	0.5	0.6	0.65	3.4	は
			Y	左	0	0	0	2.5	0.5	0.6			
				右	0	2.5							
ろ	10		1 X	左	0	0	0	0	0.5	1.6	0.9	4.8	ち
			Y	左	0	0	0	5	0.5	1.6			
				右	0	5							
に	10		1 X	左	0	0	0	0	0.5	1.6	0.9	4.8	ち
			Y	左	0	0	0	5	0.5	1.6			
				右	0	5							
と	10		2 X	左	0	0	0	0	0.5	0.6	-0.6	-3.1	ち
			Y	左	4	0	0	0	0.5	0.6			
				右	4	0							
い	11		1 X	左	0	0	0	2.5	0.8	1	3	15.9	り
			Y	左	0	2.5	0	2.5	0.8	1			
				右	0	0							
			2 X	左	0	0	0	2.5	0.8	0.4	1.6	8.5	と
			Y	左	0	2.5	0	2.5	0.8	0.4			
				右	0	0							
ろ	11		1 X	左	0	2.5	0	0	0.5	1.6	0.9	4.8	ち
			Y	左	0	2.5	0	5	0.5	1.6			
				右	0	0							
			2 X	左	0	2.5	0	0	0.5	0.6	-0.6	-3.1	は
			Y	左	0	2.5	0	0	0.5	0.6			
				右	0	0							
は	11		1 X	左	0	2.5	0	2.5	0.5	1.6	0.9	4.8	と
			Y	左	0	0	0	0	0.5	1.6			
				右	0	0							
			2 X	左	0	2.5	0	2.5	0.5	0.6	0.65	3.4	に
			Y	左	0	0	0	0	0.5	0.6			
				右	0	0							
に	11		1 X	左	0	0	0	0	0.5	1.6	0.9	4.8	ち
			Y	左	0	5	0	5	0.5	1.6			
				右	0	0							
と	11		1 X	左	0	0	0	2.5	0.5	1.6	0.9	4.8	と
			Y	左	0	0	0	0	0.5	1.6			
				右	0	0							
			2 X	左	0	0	0	2.5	0.5	0.6	1.4	7.5	と
			Y	左	0	2.5	0	4	0.5	0.6			
				右	0	0							
ち	11		1 X	左	0	2.5	0	0	0.5	1.6	-1.6	-8.4	と
			Y	左	0	2.5	0	0	0.5	1.6			
				右	0	0							
			2 X	左	0	2.5	0	0	0.5	0.6	-0.6	-3.1	は
			Y	左	0	0	0	0	0.5	0.6			
				右	0	0							
り	11		1 X	左	0	2.5	0	2.5	0.8	1	3	15.9	り
			Y	左	0	0	0	0	0.8	1			
				右	0	0							
			2 X	左	0	2.5	0	2.5	0.8	0.4	1.6	8.5	と
			Y	左	0	0	0	0	0.8	0.4			
				右	0	0							

